令和３年度　学校経営改革方針

学校教育目標：「生きる力」を身につけ，未来を切り拓く生徒の育成

めざす学校像　　『　生徒と教職員の笑顔が通う学校　』
～　すべての生徒が安心して学べる学校　～

めざす生徒像

・自ら学び，仲間と高めあう生徒
・笑顔であいさつをする生徒
・つながりを大切にする生徒
・命を大切にする生徒
・地域を愛する生徒

めざす教職員像

・授業改善と指導力向上に努める教職員
・「想い」を聴ける教職員
・つながりを大切にする教職員
・共に学び続ける教職員

学校経営方針に基づく具体的な方策

１　確かな学力の育成

（１）主体的，対話的な深い学びの実現（学び合いによる協動的な授業の創造）
①指導主事や外部講師を招聘しての公開研究授業を各学期１回実施する。
②授業公開週間設定し，すべての教員が公開授業を行い，授業力を向上させる。
③市内外の授業研究会に積極的に参加（1 回以上）し，よりよい指導方法を学ぶ。
④「指導と評価の一体化」に向けて指導主事を招聘しての研修会を実施する。
※学校アンケート「授業で発表したり，グループ学習の時に自分の意見を言ったりして，意欲的に学習している」に肯定的な回答　生徒８５％以上(昨年度 80.8%)
※鳴門アンケート「新学習指導要領の理解に基づき，指導を行っている」に肯定的な回答　教員９５％以上(昨年度 90.5%)

（２）基礎学力の定着（家庭学習・学習支援・読書活動の充実）
①生活ノート「MY　LIFE」を活用した自主的な毎日の復習や振り返りの推進。
②家庭と連携した「学習習慣・生活習慣などのチェックシート」（２回）の取組。
③定期考査前の補充学習（２日間），夏季休業中の補充学習（４回以上）の実施。
④１，２年生は朝の１０分間読書，全校では，読書週間（２回以上）を実施。
図書館便りの発行，多読賞による読書活動の啓発（年２回）
※全国学力調査，みえスタディ・チェック正答率全教科県平均以上
※学校アンケートで「家庭学習にしっかり取り組んでいる」に肯定的な回答
生徒８０％以上（昨年度 74%），保護者７０％以上(昨年度 57.3%)
※鳴門教育大学アンケート「意欲的に取り組むよう授業の工夫している」に“非常にそう思う”と回答　教師６０％以上　(昨年度 52.4%)

※学校アンケート「朝の読書以外に読書をしている」に肯定的な回答
生徒７０％以上(昨年度 52%)
※図書貸し出し冊数２０００冊以上

（３）ＩＣＴを活用した授業の改善（一人一台パソコンの有効活用）
①ICT 活用指導力の向上（ICT 研修 2 回以上）に取り組み，授業での有効活用を図る。
※「教育効果を上げるために，コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用する」に“できる”と回答　８０％以上

2 豊かな心の育成

（１）考え，議論する道徳の創造
①道徳の公開授業研究会の実施。
②指導計画の作成と見直し及び取組の進捗状況の確認（月１回以上）。
※学校アンケート「道徳の授業では，自分の考えを深めたり，仲間と議論したりする活動に取り組んだ」　肯定的な回答９０％以上(昨年度 87.5%)

（２）人権教育・多文化共生教育の推進（多様性の尊重）
①校区内の幼小中の連携を密にし，人権教育のカリキュラムを見直し（年間５回）。
②小グループを活用したソーシャルスキルトレーニングやグループエンカウンターによる人間関係作りを行う。（月１回）
③職員研修や情報交換を積極的に行い，多文化共生教育(日本語指導も含む)の指導体制を確立させる。
※学校アンケート「いじめや差別等の人権問題に真剣に取り組んでいる」に“非常にそう思う”と回答　生徒７０％以上(昨年度 65.8%)　保護者３０％以上(昨年度 18.3%)
※鳴門アンケート「クラスは人に対する思いやりが大切にされている」に“非常にそう思う”と回答　生徒６０％以上(昨年度 50%)

3 健康な身体と体力の育成

（１）食育の充実
①お弁当の日の設定（各学期１回）
②学校栄養教諭との連携，お昼の放送の活用"

（２）保健･健康教育の推進
①ほけんだよりの発行（月１回）
②アレルギー及び事例研修の実施（必要に応じて随時実施）
③生徒指導部会及び生徒支援部会での情報共有（毎週）
※鳴門教育大学アンケート「配慮を要する生徒に対応するために，工夫・改善を組織的に行っている」教員９５％以上（昨年度 94.2%）

4 自律し未来を切り拓く力の育成

（１）基本的な生活習慣の確立
①毎週月曜日，教職員による挨拶運動を行う。

②学校・学年通信などで，子どもの様子を積極的に保護者に伝える。（HP の活用）
③生徒指導体制を確立するとともに，家庭や地域社会，関係機関との連携を図り，生徒指導の充実に努める。
※学校アンケート「あいさつをしている」で“非常にそう思う”と回答
生徒７０％以上(昨年度 62.5%)　保護者５０％以上(昨年度 42%)
※学校アンケート「あなたの周囲の仲間は，ルール（規則）を守っている」で“非常にそう思う”と回答　生徒７０％以上
※学校アンケート「間違った行動に対してきちんと指導してくれる」に“非常にそう思う”と回答　生徒７５％以上(昨年度 71%)

（２）特別支援教育の推進
①研修部会や生徒指導部会と連携し，特別支援教育の共通理解を図る。
②特別支援学級生徒の校区，校種を超えた交流を行う。（年間６回以上）
③関係専門機関との連携を推進する。
※必要な生徒に対する個別の支援計画・個別の指導計画の作成及び見直し１００％
※学校アンケート「一人ひとりのことを大切に考え指導してくれる」に“非常にそう思う”と回答　生徒７０％　(昨年度 65.8%)"

（３）不登校の未然防止と自立支援の充実
①積極的な家庭訪問による信頼関係づくりや生活習慣改善への働きかけを行う。
②保護者との連携を密にするとともに外部機関との連携を図る。
③魅力ある授業づくりに取り組むとともに,個に応じた具体的な支援方法(適応教室，TT，取り出し等）や合理的配慮を推進する。
④毎日の生活ノートでのつながりや学期ごとに教育相談を実施する。
※学校アンケート「先生は何でも快く相談にのってくれる」に“非常にそう思う”と回答　生徒６５％(昨年度 58.7%)
※学校アンケート「学校は，子どもたちの相談に親身に応じている」に“非常にそう思う”と回答　保護者３０％以上　(昨年度 25.4%)
※１０日以上欠席の生徒１０％以上減　(昨年度 44 人)
※３０日以上欠席の生徒２０名以下　（昨年度 28 名うち不登校が原因８名）

（４）キャリア教育の推進
①「職業調べ」（1 年生）「社会人から学ぶ」（2 年生）「高校授業体験講座」（3 年生）の取組の充実を図る。
②キャリアパスポートを活用し，自分の生き方について見つめることで系統だったキャリア教育を行う。
③進路通信，進路説明会，保護者会を通じて様々な情報発信や相談会を行う。
※鳴門教育大学アンケート「将来の夢や希望を持っている」　生徒７５％以上（昨年度 64.5%）
※ 学校アンケート「進路や職業について適切な情報提供や指導を行っている」に“非常にそう思う”と回答　生徒７０％以上（昨年度 64%）　保護者４０％以上（昨年度 23%）

（５）部活動の充実

①部活動運営方針に沿った運営を行う。(計画表の配布，活動内容の改善，週 2 日以上の休日など)

②すべての部活動で保護者会を実施し，メール配信も積極的に利用する。

※学校アンケート「部活動に積極的に参加している」に“非常にそう思う”と回答
生徒　７５％以上（昨年度 70%）　保護者　７０％以上（昨年度 65.2%)

※大木中学校部活動運営方針に基づいた休養日の遵守(100%)

（６）生徒会活動の充実

①全校生徒が生徒会活動を積極的に取り組めるように生徒会通信の発行（月１回）や生徒会集会を行うことにより，生徒会活動と学級との連携を図る。

※学校アンケート「生徒会の委員会活動や学校行事に積極的に取り組んでいる」に“非常にそう思う”と回答　　生徒７０％以上（昨年度 67%)

５ 安全で安心な学校づくり

（１）いじめのない学校づくり

①全教職員がいじめ問題への認識と自覚を深め，人権感覚を高めるための研修や校区小学校との連携を深める。

②生徒が主体的にいじめ問題について考え，行動できる取組を推進する。

③毎日の生活ノート，定期的なアンケートや教育相談を実施し，生徒がいじめを訴えやすい体制を整える。

※鳴門教育大学アンケート「学校は，いじめや暴力などの問題が起きたときに，適切に対応している」に肯定的な回答 保護者９０％以上(昨年度 84.7%)

※鳴門教育大学アンケート「クラスでは安心して学ぶことができる」に肯定的な回答　生徒９５％以上(昨年度 91.2%)

※ いじめアンケートの実施(年 3 回)及び認知事案についての対応(100%)

（２）交通安全教育の推進

①地域・PTA と連携した交通安全指導の実施（年間９回），交通委員会（毎週）

②交通安全教室，長期休業前後の全校集会での啓発活動。

※学校アンケート「交通ルールやマナーを守っている」に“非常にそう思う”と回答　生徒７０％以上（昨年度 62.6%）　保護者５０％以上(昨年度 42.3%)

※生徒交通事故発生件数０件（昨年度１件)

（３）防災教育の推進

①避難訓練を毎学期（年４回）実施。

②校区小学校と連携した津波避難訓練（1 年生）を実施する。

※学校アンケート「災害危機管理について，保護者・地域との連携を図っている」に“非常にそう思う”と回答　　保護者３５％以上(昨年度 26.2%)

（４）施設・設備点検の徹底

①施設・設備の安全点検を毎学期実施。(年 3 回)

６ 地域とともにある学校づくり

（１）コミュニティースクール(学校運営協議会)の推進

① 全教職員の参加（９月），校区合同学校運営協議会の開催（１１月）

② 学校支援ボランティアの充実　　登録人数３０名以上(昨年度２５名)

※「学校は，保護者・地域との連携を積極的に図っている」　保護者９０％以上（昨年度 91.2%）

（２）保護者・地域との連携強化

①土曜の教育活動の中で，地域へ貢献できる生徒の育成を目指した取組を校区学校運営協議会と連携して行う。

②土曜授業参観や学校行事等を積極的に公開することで，保護者・地域の方が参加しやすい状況をつくる。

※学校アンケート「保護者・地域との連携を積極的に図っている」に“非常にそう思う”と回答　保護者４０％以上（昨年度 26.3%）

※学校アンケート「地域行事やボランティア活動に参加した」に肯定的な回答　生徒５０％以上　(昨年度 42.6%)

※学校アンケート「通信やプリントを保護者にきちんと渡している」に“非常にそう思う”と回答　生徒５０％以上（昨年度 47.6%)

（３）校区小学校との協働

①小学校への出前授業の実施（年１回以上）

②校区の公開授業，校区交流会への参加（１人１回以上）

③校区合同メディアコントロール週間の実施（年２回以上）

７ 働きやすい環境づくり

（１）総勤務時間の縮減

①４５時間以上の過重労働者０名(昨年度のべ 72 名)

年間過重労働時間３６０時間以上０名(月平均３０時間以下　昨年度 13／27 名)

②定時退校日の設定　月２日以上（８０％以上退校）

③放課後に開催して６０分以内に終了した会議の割合　６０％以上

（２）ワークライフバランスの啓発

① 休暇の取得促進　特休及び年休の合計取得　２０日以上　(昨年度 16.4 日)

② 夏季休暇の完全取得

（３）個別面談を通じた働き方支援

①中間面談の完全実施　(昨年度 100%)，開かれた校長室の推進

②働き方改革についての研修の実施（意識改革の促進）

（４）効率的な職場環境の整備

①校務用 ICT 機器の有効利用，教材の共有化の推進

②職員室内の整理整頓（年 3 回）